



座間市

PRESS RELEASE

プレスリリース

令和8年1月29日

事業、制度など

令和7年度「相模線複線化等促進期成同盟会」 要望活動の実施について

のことについて、別紙の通り情報提供します。

問い合わせ先 都市部 都市計画課 地域交通係

TEL 046 (252) 8289 FAX 046 (255) 3550



座間市 総合政策部 秘書広報課 広報係

〒252-8566 神奈川県座間市緑ヶ丘一丁目1番1号

電話 046 (252) 8321 FAX 046 (255) 5090

令和7年度「相模線複線化等促進期成同盟会」要望活動の実施について

相模線複線化等促進期成同盟会（会長：相模原市長）では、神奈川県や沿線4市1町、沿線の経済団体と連携し、相模線の複線化の実現に向けた活動を行っております。

この度、次のとおり要望活動を実施いたしましたのでお知らせします。

1 日 時

令和8年1月28日（水） 午前10時から午前10時20分まで

2 要望先

東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長 矢野 精一 氏

3 要望者

相模線複線化等促進期成同盟会 会長 相模原市長 本村 賢太郎

4 参加者

・相模原市長	本村 賢太郎
・神奈川県副知事	橋本 和也
・海老名市長	内野 優
・座間市長	佐藤 弥斗
・寒川町長	木村 俊雄
・茅ヶ崎市副市長	塩崎 威

5 主な要望内容

別添要望書のとおり

6 矢野横浜支社長の発言概要

相模線の複線化は多額の投資が必要で、沿線まちづくりやお客さまご利用状況などを踏まえて長期的に検討すべき課題であり、現時点では実現は厳しい状況にある。一方で、複線化以外にも相模線には解決すべき課題があり、引き続き自治体の皆さまのご協力もいただきながら改善に取り組んでいく考えである。

【要望活動の様子】



（左から）橋本 神奈川県副知事、木村 寒川町長、
内野 海老名市長、本村 相模原市長、矢野 横浜
支社長、佐藤 座間市長、塩崎 茅ヶ崎市副市

写

令和7年度
相模線複線化の早期実現
に関する要望書

東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社長
矢野 精一 殿

相模線複線化等促進期成同盟会

相模線複線化の早期実現に関する要望書

【要望事項】

リニア中央新幹線の開業を見据えた整備や各自治体のまちづくりが着実に進展する中、相模線の輸送力増強や速達性向上等、輸送サービスの改善が望まれることから、信号保安設備の改修や行違い施設の整備、部分複線化等の段階的整備を図り、沿線住民の切なる願いである、相模線全線複線化の早期実現に向けた取組を推進されますよう要望します。

相模線の現状

- 東京都心から約50kmに位置する相模線は、東海道本線や横浜線など東京や横浜方面に向かう5つの路線と接続しているが、単線のため、列車の行違いの待ち時間等により表定速度が低く、運行本数も少ないなど、周辺の鉄道と比較して十分な輸送サービスが確保されていない。

相模線を取り巻く環境

- 平成28年4月の交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」において、「新幹線駅へのアクセス改善や通勤・通学需要の急増等、輸送需要の動向等を踏まえて、例え相模線、南武線等の輸送サービスの改善に資するプロジェクト等については、関係地方公共団体・鉄道事業者等において、検討が進められることを期待」と位置付けられている。
- 「新かながわグランドデザイン」において、相模線複線化などの促進が位置付けられているとともに、「かながわ都市マスターplan」において、全国との交流連携の窓口となる北のゲート(リニア中央新幹線駅:橋本駅付近)と南のゲート(東海道新幹線新駅:倉見駅付近)を結ぶ相模連携軸の整備・強化が位置付けられている。
- 北のゲートとしてリニア中央新幹線の駅が設置される相模原市橋本駅南口地区では、昨年12月に、独立行政法人都市再生機構が土地区画整理事業の事業認可を申請するなど、「リニアでつながる一歩先の未来を叶えるまち橋本」をコンセプトにまちづくりが進められている。
- また、リニア中央新幹線の工事が沿線各地で進められていることを受け、南のゲートとして東海道新幹線新駅を誘致している寒川町倉見地区の倉見駅付近では、新駅設置の可能性が高まっている。
- この東海道新幹線新駅の受け皿となる、寒川町倉見地区と相模川対岸の平塚市大神地区とを一体化した、環境と共生する魅力ある都市「ツインシティ」のまちづくりにおいては、平塚市大神地区の土地区画整理事業が令和9年度に完了する予定であり、寒川町倉見地区についてもまちづくりに係る都市計画手続きを、令和9年度を目途に開始できるよう取り組んでいる。
- 神奈川東部方面線の開業により、県央・湘南地域から、東京、埼玉まで、広域的な鉄道ネットワークが形成され、相模線沿線の利便性向上や地域活性化につながっている。
- 小田急多摩線(上溝駅方面)や相鉄いずみ野線(倉見駅方面)の延伸等の交通ネットワーク拡充による、東京都心や横浜・川崎などの拠点との更なる連携強化も期待されている。

同盟会の取組

- 平成25年度に相模線を取り巻く環境の変化を踏まえ、複線化の早期実現に向け、概ね令和27年度までに取り組む内容についてまとめた、「新たな相模線交通改善プログラム」を策定した。
- 行違い施設整備の検討や駅及び周辺の交通改善、地域の魅力創出の需要喚起施策等を実施している。

令和8年1月28日

相模線複線化等促進期成同盟会
会長 相模原市長 本村 賢太郎

相模線複線化等促進期成同盟会の概要

1 設立の経緯

- (1) 相模線の活性化を図るため、県、沿線市町及び沿線経済団体では、「相模線活性化促進協議会」（昭和60年5月設立、会長：相模原市長）を組織し、平成3年3月には全線で電化が実現するなど、相模線の輸送力増強等に取り組んできた。
- (2) 平成9年11月の東海道新幹線新駅候補地の一本化などを受け、将来の利用者需要に対応するため、平成10年2月に協議会を解散の上、「相模線複線化等促進期成同盟会」を設立し、複線化を目指した活動を展開している。

2 目的

JR相模線の全線複線化の早期実現を目指し、輸送力増強を促進するとともに、沿線地域の発展を図ることを目的とする。

3 事業内容

- (1) 関係機関への要望、陳情活動
- (2) 各種情報収集及び調査研究活動
- (3) 関係団体との連絡、調整
- (4) その他、目的達成に必要な事業

4 組織体制

- (1) 会員 (11名)
 - ア 神奈川県知事
 - イ 沿線市町の首長（茅ヶ崎市長、相模原市長、海老名市長、座間市長、寒川町長）
 - ウ 沿線経済団体の長（相模原商工会議所会頭、茅ヶ崎商工会議所会頭、海老名商工会議所会頭、座間市商工会会長、寒川町商工会会長）
- (2) 役員
 - ア 名誉会長 神奈川県知事
 - イ 会長 相模原市長
 - ウ 副会長 茅ヶ崎市長、海老名市長、相模原商工会議所会頭
 - エ 監事 座間市長、寒川町長、座間市商工会会長
- (3) 顧問
 - ア 沿線選出国會議員
 - イ 県議会正副議長、沿線選出県議会議員
 - ウ 沿線市町議会議長
- (4) 事務局
 - 相模原市都市建設局まちづくり推進部交通政策課